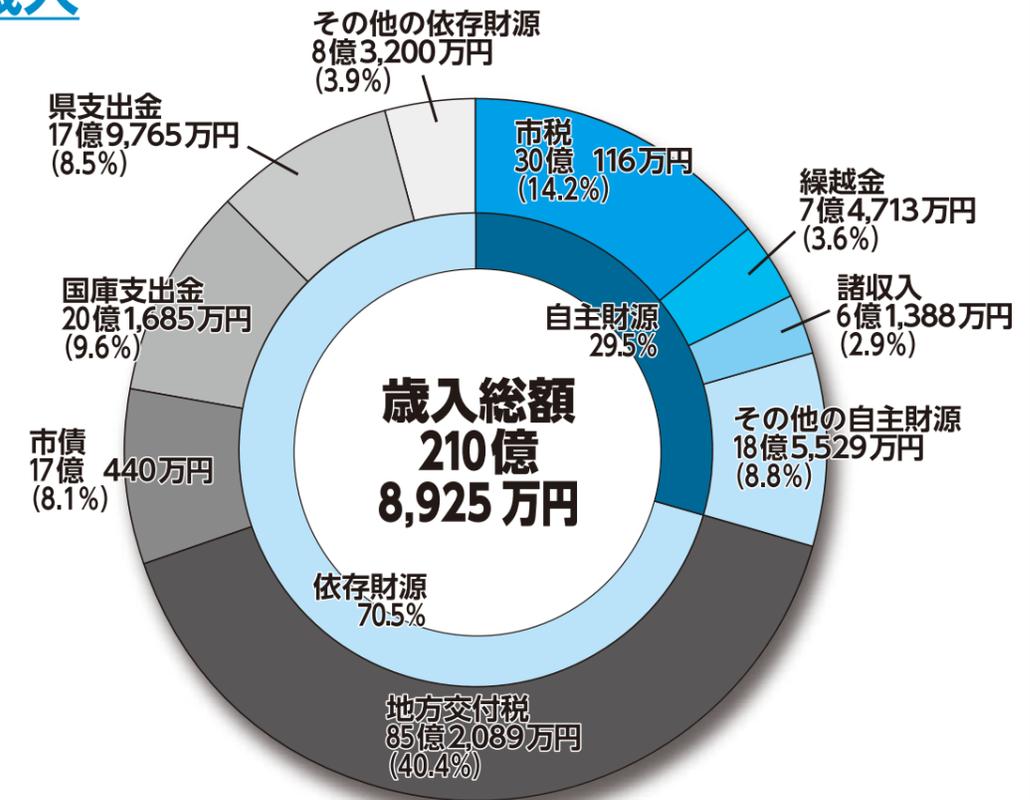


8月29日から9月23日まで開かれた市議会第3回定例会で、平成27年度の一般会計など9会計の決算が認定されました。ここでは、決算の内容を財政の健全度を示す各種指標と併せて紹介します(金額は、1万円未満を四捨五入しています)。

## 歳入



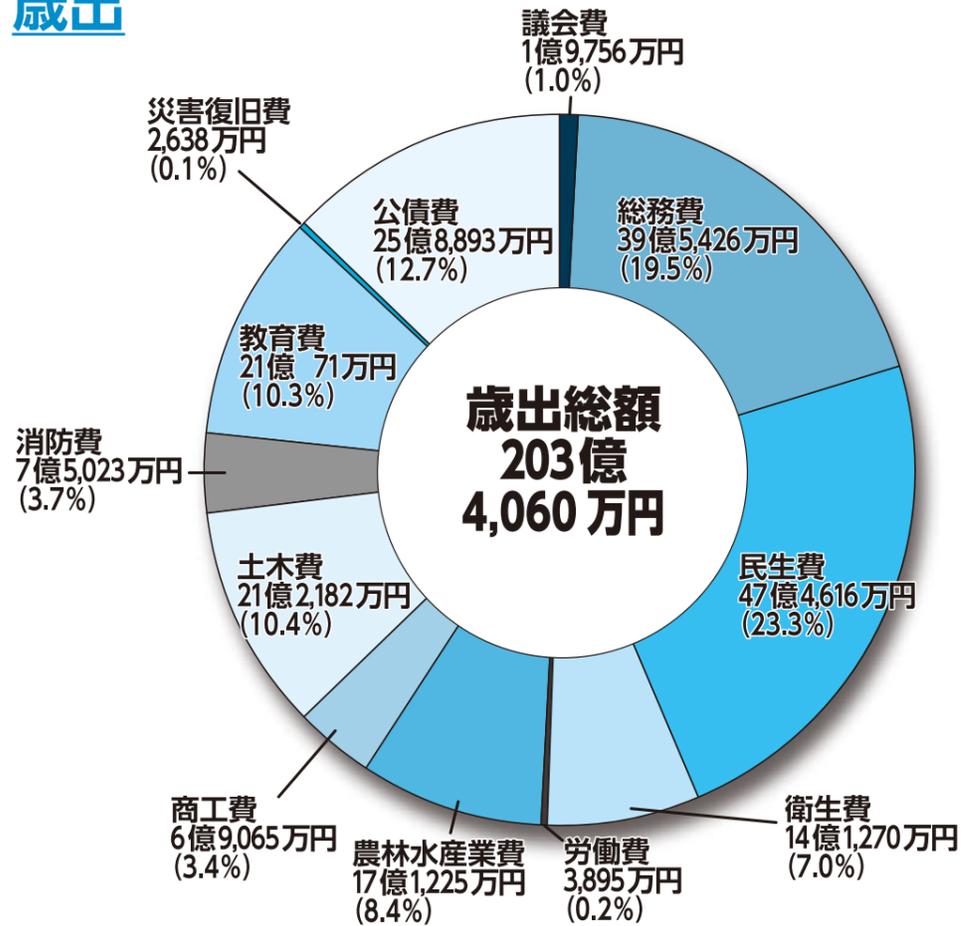
自主財源…市が自主的に収入できる財源 依存財源…国や県から交付される財源

※各数値は、1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。

平成27年度特別会計・企業会計の決算状況

会計名	収入額	支出額
国民健康保険(事業勘定)	41億5,872万円	40億6,886万円
国民健康保険(診療施設勘定)	3億450万円	2億7,361万円
後期高齢者医療	2億5,354万円	2億5,156万円
公共下水道事業	4億7,862万円	4億4,442万円
農業集落排水事業	5億4,803万円	5億3,243万円
浄化槽事業	5,978万円	5,572万円
水道事業	収益的収支	5億6,989万円
	資本的収支	1億7,797万円
西根病院事業	収益的収支	8億3,735万円
	資本的収支	6,983万円

## 歳出



### 財政の健全度を表す指標

- ①実質赤字比率** 一般会計など税金が主な収入源の会計収支が、標準財政規模(※)に占める赤字の割合。本市は黒字なので、該当はありません。
- ②連結実質赤字比率** 企業会計を含む全会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合。本市は赤字や資金不足の会計はありません。
- ③実質公債費比率** 地方債の償還金を標準財政規模で割ったもの。本市は前年度より0.4%少ない9.9%です。
- ④将来負担比率** 現在抱えている負債の大きさを標準財政規模で割ったもの。本市は、充当可能な財源が将来負担額を上回っているため、該当ありません。
- ⑤資金不足比率** 下水道など公営企業の資金不足を事業の規模と比較したもの。本市は資金不足の会計はありません。

#### ※標準財政規模とは

市が、標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すものです。標準税収入などに普通交付税を加算した額。財政の指標となる①から⑤までの比率を計算するための分母となる重要な数字です。27年度の市の標準財政規模は、121億8,444万円です。

歳出で一番多くの割合を占めるのが、民生費の47億4,616万円(23.3%)で、子育て支援、障がい者や高齢者の福祉サービス、生活保護などのために使われました。次に多いのが、総務費の39億5,426万円(19.5%)で、将来に備えて基金への積み立てなどを行いました。前年度よりも大きく増加したのが、教育費の21億71万円(10.3%)、対前年度比48.4%増です。希望郷いわて国体の開催に向けて、市ラグビー場造成工事などの施設整備や、国体運営準備に使われたほか、小・

中学校の屋内運動場の吊り天井改修工事など、耐震化工事の実施によるものです。財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度より0.1%上昇し、85.9%、財政力指数は、0.30でした。また、地方債残高は前年度より7億4,185万円減少し、185億8,405万円となりました。市では、より一層の経費削減などに努め、今後も効率的な行政運営を目指していきます。詳しくは、市役所企画財政課財政係(☎:内線1202)まで。

### 歳入 前年度に比べ自主財源比率が4.1%の上昇

27年度の一般会計の歳入(収入)は、210億8,925万円でした。一番多くの割合を占めるのは、地方交付税の85億2,089万円(40.4%)で、前年度より187,3万円(対前年度比0.2%増)多くなっています。次に多いのが、市税の30億116万円(14.2%)、対前年度比1.5%減で、3番目が国庫支出金の20億1,685万円(9.6%)、対前年度比10.8%減でした。歳入のうち、自主財源は62億1,746万円(29.5%)で、依存財源が148億7,179万円(70.5%)となり、前年度に比べ、自主財源比率が4.1%多くなりました。

### 歳出 希望郷いわて国体開催教育費が48.4%の増

一般会計の歳出(支出)は、203億4,060万円でした。